

第13回 全国若者・ひきこもり 協同実践交流会 in とやま

ともしやってみんまいけ

みんなでやりましょう

ほくりく発

語り合おう 私の生き方 支え合う 多様な生き方

全国若者・ひきこもり協同実践交流会 と その魅力

全国若者・ひきこもり協同実践交流会は、2006年、和歌山県で主にひきこもりの当事者を支援する人たちによって、“社会的ひきこもり支援者全国実践交流会”が開催されたことに始まります。

今年3月に開催された第12回東京大会は、若者や家族、支援者など1000名を超える大きな実践交流会になりました。交流される実践は、居場所づくりから、学習、就労、医療、住まい、貧困や社会的孤立への取り組みなどにも広がり、テーマ別分科会は、9つの分科会を予定しています。北陸で初めて開かれるこの交流会の成功に向け、実行委員会、実践交流会当日とも多数の皆様のご参加をお待ちしています。

■タイムスケジュール

	12:00	12:50	13:30	15:30	16:00	18:00	18:30	20:30
【1日目】 9日	受付開始	開会 あいさつ 基調報告 (黒田講堂ホール)	全体 シンポジウム (黒田講堂ホール)	休憩 移動	テーマ別 分科会 (共通教育棟各教室)	懇親会 (大学生協食堂)		
【2日目】 10日	受付開始	テーマ別 分科会 (共通教育棟各教室)	お昼 休憩	テーマ別 分科会 (共通教育棟各教室)	終わりの つどい (共通教育棟)	後夜祭		
	8:30	9:30	11:30	12:30	14:30	16:00	17:00	

日時 2017年 12月9日(土)・10日(日)

会場 富山大学五福キャンパス
〒930-8555 富山県富山市五福3190

参加費 一般 3,000円
学生・若者 1,000円

*事前の申し込み、お支払いをお願い致します。
11月30日締め切りです。

*「学生・若者」は自己申告です。

主催: JYCフォーラム(若者支援全国協同連絡会) 全国若者・ひきこもり協同実践交流会inとやま実行委員会

後援: 富山県 富山県教育委員会 富山市 高岡市 魚津市 氷見市 滑川市 黒部市 砺波市 小矢部市 南砺市 射水市
舟橋村 上市町 立山町 入善町 朝日町 富山県教育委員会 高岡市教育委員会 (福)富山県社会福祉協議会
(福)富山市社会福祉協議会 (福)氷見市社会福祉協議会 親子のリレーションシップほくりく

■ごあいさつ

全国若者・ひきこもり協同実践交流会が、北陸で初めて、富山県で開催されることになりました。この大会で若者、家族、支援者がそれぞれの生き方を語り合い、その多様な生き方を支え合うような交流会になればと思っています。実行委員会での話し合いの積み重ねを通して、富山での連携が深まり、さらに交流会で繋がり全国にまで広がるような会になることを期待しています。

第13回全国若者・ひきこもり協同実践交流会 inとやま 実行委員長 引 網 純 一

■全体シンポジウム『地方における若者協同実践』

近年、にわかに「地方」「地域」ということが注目されるようになってきていますが、「若者協同実践」という観点で見た場合、それはどのように描けるでしょうか？一般的には地方の「資源のなさ」に注目が集まりがちですが、逆にインフォーマルな資源が実は豊富だったり、分野ごとの垣根が低いという側面もあります。そしてそれらのうちには、都市部でも活用・展開可能なヒントがたくさん含まれています。そこで今回は、地方周辺都市における若者協同実践の取り組みを集め、検討します。

【実践報告】コミュニティハウスひとのま(富山県高岡市)／山村エンタープライズ(岡山市美作市)／労協センター事業団 但馬地域福祉事業所(兵庫県豊岡市)



テーマ別分科会

分科会 1	ひきこもる 家庭への支援	本人、家族、地域の視点を支え、長期高齢化などによるSOSを出しづらい家族への支援のありかたについて考えます。
分科会 2	実践としての“住まい”	若者の状態にあわせた住む場づくりの意義と、住む場における段階的な支援のあり方について議論を深めます。
分科会 3	ともに はたらく	はたらくとは？参加者の皆さんの経験や知恵をわかちあい、多様なはたらきの意味、出会い、つながり、などお互いに学びあいましょう。
分科会 4	論ずるより 作って感じる居場所	「居場所」と一言で言っても、なかなかわからないですね。だから、それぞれの居場所のイメージを持ち寄って、実際に居場所をつくって何かを感じてみませんか。
分科会 5	出会い・参加・共働の ある地域づくり	若者が参加し、多様な生き方を認め合いながら共につくる地域づくりと、これからの地域共生社会のあり方、可能性について考えます。
分科会 6	若者支援と 発達・精神障がい	「障害」との向き合い方は多様ですが、その特性を強みにした、新しい協同実践づくりを皆さんと考えていきたいと思っています。
分科会 7	現場実践から考える 多様な学びへの支援	学齢期のひきこもり・不登校の支援について、居場所や学び、相談の場の実践を持ち寄り、連携や支えあいの意味について考えます。
分科会 8	LGBTQと 家庭・学校・地域の課題	多様なセクシュアリティをもつ若者たちの社会的孤立とどう向き合うか、当事者の方の声をもとに皆で考えていきます。
分科会 9	官民でひらく若者支援	若者たちを取り巻く環境について、福祉・教育・雇用から切り込み、生きがいある社会生活につながる連携について考えていきましょう。

■フリンジ企画

作品展

～自由な表現と自由な交流の場～

絵や詩、音楽、料理… 興味あること全て。「楽しいこと」をして過ごしていると新しい発見が？ 自分の中にある新しい「自分」に気づくかもしれない。誰もがごちゃまぜの交流の場。



■会場案内 富山大学五福キャンパス 〒930-8555 富山市五福3190番地

■交通案内 ★JR富山駅 市内電車「富山駅」停留場
大学行き(15分)～「大学前」停留場から徒歩5分
★JR富山駅南口、3番バス乗り場富山大学経由(20分)～「富山大学前」バス停すぐ
☆富山空港から富山駅前までバスで約20分
※公共の交通機関をご利用ください

参加申し込みについて

ご参加には申し込みが必要です。
メール、FAXでの申し込み方法を準備しています。
準備ができ次第、大会ホームページに掲載します。
【大会ホームページアドレス】
<http://www.jycforum.org/>

問い合わせ先

■現地事務局

Eメール hikikomori.toyama.2017@gmail.com 〈担当:山岡〉

■JYCフォーラム事務局

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタミビル7F
Mail: info@jycforum.org HP: <http://www.jycforum.org/>